

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	急性期一般病棟における身体拘束に対する看護師の意識改善に向けた取り組み
研究責任者 (所属科名)	看護部 森川 智恵
本研究の目的・意義	近年、身体拘束に関する多くの議論がなされ、身体拘束は最小限に留める傾向にあります。しかし、急性期病棟においては患者さんの生命維持や治療の遂行及び、安全確保を目的として身体拘束が必要となることがあります。広島記念病院の急性期一般病棟においても、術後せん妄や認知症、見当識障害などを伴う患者さんに対し身体拘束をせざる得ない場合があります。身体拘束の必要性の判断については、直接ケアに携わっている受持ち看護師個人の経験やアセスメントに影響されることも多く、インシデントを起こしたくないという心情や迷い、不安から予防的に身体拘束が実施され、解除に向けた行動に繋がっていない場合があります。加えて、業務の忙しさからカンファレンスが簡素化している現状があり、一度身体拘束が実施されると、十分に検討されないまま身体拘束が継続されている傾向にあります。そこで、看護師の身体拘束に対する意識を明らかにした上で、身体拘束に対する意識改善を図り、患者さんの安全及び尊厳の観点を踏まえた効果的なカンファレンスを行なうことを目的とし、本研究に取り組むこととします。
研究予定期間	倫理審査委員会承認後～2022年3月31日
該当資料・データ	対象：広島記念病院病棟勤務看護師
個人情報の取扱い	研究により得られた情報は、個人を特定する情報がわからないよう匿名化して保存します。診療情報はデータ解析され研究終了後5年間保存します。保存期間終了後は匿名のまま適切に廃棄します。
共同研究機関	該当なし
本研究の資金源(利益相反)	該当なし
お問い合わせ先	広島記念病院 森川 智恵 082-292-1271